

第1回 高山市平和都市宣言検討会議 会議結果

日 時	平成27年9月24日（木）19:00～20:35
場 所	高山市役所 地下1階 大会議室
出席委員 21名 (敬称略)	黒木正之【会長】、元仲しのぶ【副会長】（代理者出席）、小林伸子 高桑眞佐子、岡田悦子、滝村一彦、谷口律生、池田光彦、小林 浩、銅島大衍 堀 泰則（代理者出席）、中澤澄夫、住奥久隆、伊藤文子、平塚光明 糠塚良一、坂本智樹、生田チサト、松原 滋、西田純一、丸山永二
内 容	<p>○委嘱状交付</p> <p>○市長あいさつ</p> <p>市は心やすらかに将来に危惧なく暮らせる地域づくりを進めている。今、平和が世界の中でクローズアップされており、戦後70年たった今、いつ戦争に巻き込まれるかもしれないという危惧を持ち始めている。世界には、多くの紛争・戦争があり、自分の意志と関係なく、命を奪われたり、住むところを追われたりしている人がいる。これらをニュースで見ても、日常として不思議なことではないという感覚を持ってしまっており、反省すら覚える状況である。</p> <p>高山市は、小さな地方都市ではあるが、市民の心のやすらぎ、平和への思い、これらを追及する事業を進めていきたい。地方から世界に向けて、平和、心の安らぎを訴える都市でありたい。この思いから、国連の国際平和デーに呼応し、一昨年、「高山市平和の日」を制定させていただいた。そして、具体的に行動に表すという意味で、昨年、「平和への絆」を設置させていただいた。市民の方には、平和をもう一度かみしめ、自らが平和を守り、築き上げていく一員としての行動の表れとして、「平和への絆」の鉦を打っていただいている。9月21日の「高山市平和の日」、「国際平和デー」には、一斉鐘打をし、長崎市、広島市の平和記念日、終戦記念日などにも、鉦を打ち鳴らしている。</p> <p>そして、「高山市平和サミット」を開催し、市民の皆様は平和について考える機会をつくらせていただいている。</p> <p>このような経過をたどりながら、平和を守り、平和の願いを世界に広げていく、このような思いを込めた宣言文をつくりあげ、世界に向けて宣言すべきではないかと考えを持たせていただき、平和都市宣言を高山市で実施したいという思いに至った。</p> <p>市民自らつくっていただき、市民それぞれの思いがこもった、市民が総意で平和を守っていくという宣言文にしたいという思いで、小、中、高生を含む市民の皆様からご意見をお伺いし、このような検討会議を設置させていただいた。またこの過程の中で、市民の皆様は平和について考えていただきたいと思っている。</p> <p>何月何日までに宣言文をつくらなければいけないとは思っていない。是非、</p>

市民の声をまとめていただき、一つの宣言文にしていただければありがたい。皆様方には、ご苦勞をおかけするが、未来永劫、高山市が続く限り、高山市民が引き継いでいく宣言文であり、皆様方のご英知を宣言文に傾けていただきたい。

平和は、戦争を放棄する、核兵器を放棄するということも大事だが、まずは、そこに住む人々、世界の人々が平穩に、心静かに希望を持って生きていける世の中をつくっていくことだと思っている。これは、私の思いだが、市民の皆様もそれぞれ思いを持っていらっしゃると思う。これらをまとめていただいて、大変な仕事だと思うが、ご協力をお願いしたい。

○高山市のこれまでの平和への取り組み

[資料3](#) 「高山市の平和への取り組み」

○平和都市宣言の実施について

[資料4](#) 「平和都市宣言の実施について」

[資料5](#) 「他市の平和宣言等」

○検討会議の役割

[資料6](#) 「高山市平和都市宣言検討会議」

[資料7](#) 「高山市平和都市宣言検討会議設置要綱」

○役員選出

- ・会長に黒木正之氏を選出、副会長に元仲しのぶ氏を選出。

市民のご意見をもとに、高山らしい平和都市宣言を作成していきたいので、ご協力をお願いしたい。(黒木会長)

○作成手順

- ・資料のとおり、進めていくことで合意。

[資料8](#) 「高山市平和都市宣言 文案作成手順」

○作成方針

- ・資料をたたき台とし、今後、市民のご意見をもとに、宣言文の柱を検討会議で検討していく。
- ・柱に、平和とは何かという定義が必要ではないか。阪神淡路大震災、福島
の被災地に支援をしているが、避難所は平和ではない、今後、火山爆発と
かあるかもしれないので、安全と安心ということも柱に入れてはいかかがか。
- ・次回会議から、柱を検討していく。

[資料9](#)